

## 松山支部

### 1 はじめに

松山支部では、松山市小中学校視聴覚教育主任会及び小中学校情報教育研究委員会が連携し、視聴覚教育・情報教育・放送教育の研究を推進している。互いの研修会や授業研究会への参加など、小学校・中学校の間で協力して取組を進めている。

### 2 教員研修について

#### 〈愛媛県視聴覚・情報教育研修会〉

G I G Aスクール構想が始まり、多くの教員が不安を抱えた状態で日々の教育活動の中でいかに実践していくか悩んでいる。そこで今年度の夏季実技研修会は愛媛県視聴覚・情報教育研修会へ参加し、実践事例を聞いたり情報交換を行ったりすることにした。参加者は具体的な話を聞き、自分ならどのように活用できるかを考えたり、新しい情報をまとめて各校での研修に生かしたりすることができた。

(1) 日時 令和3年8月2日(月) 13:00~16:00

(2) 場所 オンライン開催(本部 エスポワール愛媛文教会館)

(3) 内容

#### ア 実践事例発表

「体育科の学びをつなげる番組とeポートフォリオの活用」

発表者：松山市立椿小学校 石田 年保 教諭

「児童の学びに向かう力を伸ばすTeamsの活用研究」

発表者：松山市立小野小学校 若宮 磯一 教諭

#### イ 講演

『コロナ禍、大学教育に妥協なし!!』～私が、遠隔授業で得たこと～

講師：愛媛大学教育学部 河村 泰之 准教授

#### ウ 質疑応答

エ G I G Aスクールに関する意見交換(ブレイクアウトルームを活用)

#### 〈松山市中学校夏期実技研修会〉

中学校ではG I G Aスクール構想に向けた授業の取組について、教員間での意識の差が大きい。また、放送機器等の操作についても使用できる教員が限られており、裾野を広げることも求められている。夏季休業中に実施された第2回主任会及び夏季実技研修会では、Web会議システムへの接続方法及び周辺機器の活用についての研修を行った。

(1) 日時 令和3年7月30日(金) 9:30~12:30

(2) 場所 松山市立北条南中学校

(3) 内容

#### ア 情報交換(備品や放送機器等について、質疑応答)

#### イ Web会議システムへの接続と周辺機器の活用について

Web会議システムについて、受け手となって研修をすることはあっても、ホスト役になったことのある教員は少ないのが現状である。今回の研修では、タブレット端末にビデオカメラを接続したり、接続するための周辺機器について情報交換をしたりした。

今回の研修を通して、実際にやってみなければ分からない課題や問題点が見えた。一つは教員の意識の問題であり、各教科の教材同様、実際に活用し、改善点を見だし、次に生かしていくことで、この技術を身に付けていく必要性を感じた。もう一つはカメラや変換アダプタなどの周辺機器を複数台準備しておくことである。実際、各学校に配備されているタブレット端末を教室後方に設置し、離れた黒板等を撮影した場合、鮮明な画像であ

るとは言えない。授業等を配信するのであれば鮮明に撮影できるカメラや、そのカメラをタブレット端末等に接続するための変換アダプタが必要となる。同時に複数の教科での配信を行うのであれば、相当数が必要となる。

今後、新型コロナウイルス感染症対策だけでなく、欠席や不登校等の対策への一助として、多くの教員が活用できるように情報を共有していきたい。

#### 〈松山市小学校情報教育研修会〉

放送大学教授の中川一史先生より、GIGAスクール構想や授業デザインの方向性に関する講演をいただき、今後のタブレット端末の活用に関する指導・助言を得た。また、「Office365の活用」、「NHK for schoolの活用」、「教科横断的な活用」の視点で3分科会を開催し、研修を深めた。

(1) 日時 令和3年8月6日(金) 13:00~16:15

(2) 場所 Teamsにてオンライン開催

(3) 内容

ア 全体会

「GIGAスクールで実現する7つの『脱』」 講師 放送大学 中川一史 教授

イ 分科会

A 「Office365を活用した授業デザインについて」

B 「NHK for school×1人1台タブレット端末を活用した授業デザインについて」

C 「教科横断的な視点からの授業デザイン(1人1台端末の効果的な活用)」

各分科会においては、県内外の先進的に研究実践に取り組まれている先生方や鳥取県教育センター、金沢学院大学、日本マイクロソフト社、NHK放送文化研究所の方々を講師に迎え、分科会テーマに応じた内容の研究実践の発表や講師による分科会報告を行った。

研修会を通して、GIGAスクール時代が目の前に来ていることを実感した参加者が多かったようである。事後アンケートにも、「GIGA端末は整備されているが、どう使っていけばよいのか分からず、実感がなかった。この研修がよい刺激になった。」「新しいことを覚えて、今後の授業改善に生かしたい。」などの声が寄せられた。

### 3 今後の課題

- ICTのさらなる有効活用と指導技術の向上(校内研修の充実)
- ICTを活用した授業研究のさらなる推進  
(タブレット端末を使った主体的・対話的で深い学びの推進のための研究)  
(Web会議システムを活用した遠隔授業の研究)
- GIGAスクール構想に対する教職員の意識の向上
- 児童生徒の発達段階や、一人一人の実態に即した支援の存り方
- 情報モラル及び情報安全教育の強化等、カリキュラムの改善
- 各校におけるグループウェアの運用とルールの徹底
- 小中連携への取組